

わかやま 県議会 だより

6月定例会号

No.33 平成28年[2016]
8月11日発行(年4回発行)

主な記事

2〜3面 平成28年6月定例会の概要
4〜5面 議員の紹介
6〜7面 県議会のしくみ/議案を議決するまで/
県議会の仕事/各委員会の紹介
8面 議会活動/県議会からのお知らせ

和歌山の逸品!



印南町

かつお節と角屋甚太郎(かどや じんたろう)

和食には欠かせないかつお節。今のような火力でかつおを乾燥させ、青かびを付けて日光乾燥を繰り返す「燻乾かび付け法」ができたのは江戸時代中期です。それを考案したのが印南漁民であった「二代目角屋甚太郎」と言われています。

明日の和歌山をみんなで創る!!



濱口梧陵像の前で耐久高校の生徒さん達と

新しく就任した議長・副議長にこれからの和歌山について語っていただきました。

これからの防災対策をどのようにお考えですか。

浅井議長

熊本地震では震度7の地震が2回起き、大きな余震が続く中で、どう避難していいかわからない状況だったのではないのでしょうか。南海トラフの地震では、どれくらい被害が起きるかわからない中で、とにかく1分1秒でも早く避難することが一番大事です。高齢者や障害者の方々の避難をどうサポートできるのかの再点検も必要ですし、安全な避難場所、避難路の確保も重要です。水害のことを考えますと、河川の整備も喫緊の課題です。

化、人口減少社会を迎える中、日本の未来を担う10代の方がより早く選挙権を持つことにより、政治に関心を示し、かわってくださる若者が増えることを希望します。若い方々の意見も組み入れながら明日の和歌山をみんなで作っていきましょう。

服部副議長

私も議長と同感で、若者の意見をどんどん私たち議員にぶつけてほしいですね。自分たちの未来は自分たちの手で変えていくのだという意志を持って、私たち議員とともに、もっと素晴らしい和歌山にするためにどうすればいいのか、一緒に考えていければと思います。

和歌山県を元気にするため、どのようにお考えですか。

浅井議長

和歌山県を真の観光立県とするために持続性のある観光産業が必要で、和歌山県は1次産業の海産物・農産物だけではなく、それらを利用した加工品も多く作られています。1次産業と2次産業、それを広げていくための3次産業を一体化した6次産業の進展が和歌山県を大きく伸ばしていくと信じています。そして、それらの製品を買っていただくことで、改めて和歌山県を知っていただき



あさい 浅井 おさいちろう 修一郎 議長



はっとり 服部 はじめ 一 副議長

たいですね。

人口減少を食い止めることだと思っています。それぞれの地域で元気が出るようなアイデアに取り組んでもらい、議会としてもどんどんアイデアを出して、一緒に取り組んでいくことが元氣な和歌山につながっていくと思います。

今後の抱負をお聞かせください。

浅井議長

公平・公正、そして円滑な議会運営は当然ですが、議員の意見をしっかりと聞き、各地方の意見も吸収しながら、前向きな県議会として取り組んでいきたいと思っています。例えば議員による条例なども、少ししどしど制定しながら和歌山県の活性化を図っていきたいと思っています。

服部副議長

副議長の立場ですので、議長を補佐しながら前向きで活発な議会運営に取り組んでいきたいと思っています。

6月定例会の概要

6月2日～21日までの20日間

一般質問議員 15人

6月10日(金)	6月13日(月)	6月14日(火)	6月15日(水)
山下 直也 菅原 博之 中本 浩精 川畑 哲哉	岩田 弘彦 岩井 弘次 堀 龍雄 片桐 章浩	濱口 太史 長坂 隆司 中西 峰雄 雑賀 光夫	藤山 将材 松坂 英樹 花田 健吉

会期中の主な動き

■特別委員会の開催

- 半島振興・地方創生対策特別委員会 (6/10)
- 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会 (6/13)
- 防災・国土強靱化対策特別委員会 (6/14)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (6/15)

議案等の議決結果

項 目	件数	概 要	結 果
予 算 案 件 (知事提出)	1件	平成28年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条 例 案 件 (//)	10件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	可決
人 事 案 件 (//)	3件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて等	同意
その他案件 (//)	5件	平成28年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
知事専決処分報告 (//)	1件	和歌山県税条例の一部を改正する条例	承認
意 見 書	7件	地方財政の充実・強化を求める意見書 総務省統計局及び独立行政法人統計センターの本県への移転に関する意見書 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書 次期介護保険制度改正における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書 精神障害者への旅客運賃割引制度適用を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

政策

新和歌山県長期総合計画の策定

問 現行の長期総合計画の終期は平成29年度末であるが、なぜ1年前倒しで本年度中に新計画を策定することになったのか。

答 近年、我が国を取り巻く状況は大きく変動し、新たな諸課題への速やかな対応が求められています。そのため、この先10年間の戦略を一から練り直して、県民の皆様に総合的な指針を早期

和歌山県ならではの「ケアファーム」の検討を

に示すことが重要と考え、計画の策定を1年前倒ししました。県民の皆様や市町村のご意見を広く伺い、また県外で活躍されている有識者のご意見も併せて踏まえながら、誰もがいきいきと暮らせ、元気を保持できる和歌山の創造に向け、強い熱意と覚悟を持って取り組めます。

問 オランダでは、自然の中で農作業を行うことによって身体健康増進や社会参加の意識の醸成を図るケアファームがある。和歌山県ならではのケアファームの形

を今後検討してみてもどうか。

答 ケアファームの取り組みについては、農家の多角経営や休耕田の利活用につながるなどのでよい話であると考えますが、専門性、ノウハウ、人材確保などの面で解決すべき課題も多く、オランダの事例も踏まえて引き続き研究していきます。



災害対策

熊本地震の教訓と地震対策

問 このたびの熊本地震より大きな被害が出ている。住宅耐震改修で関心が持たれている耐震ベッドや耐震シェルターについてどれだけ予算化されているのか。

答 耐震ベッドと耐震シェルターは、平成27年度から補助対象に加えています。27年度、28年度ともに、合計50戸分の予算を計上して

います。今後もより一層、住宅の耐震化の必要性と補助制度の周知を図ることによって耐震化を推進してまいりたいと考えています。

災害対策

問 災害時における避難所の運営について、各市町村に対してどのような支援をしているのか。また、車中泊についてどう対応するのか。

答 平成25年に避難所規模に応じた「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定して市町村へ助言するとともに、わかやま防災力パワーアップ補助事業によ

労働

県職員へのテレワーク導入

問 親の介護や子育てで優秀な人材が離職することを防ぎ、災害時には在宅で職務を行うことができるテレワークについて、県が率先して導入してはどうか。

答 県職員の仕事は、企画、非定型業務、対人対応的な業務が多くて一部の業務を切り出しにくい面もあり、情報保護や業務管理など解決すべき課題もあります。が、やれることはどんどんやっていきたいと思っています。業務の効率化や多様な働き方の観点からテレワークの導入は大変魅力的ですので、さらに調査研究を進めていきます。

用語解説 テレワーク

パソコンなどの情報通信機器を活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方のこと。



観光

捕鯨文化「鯨とともに生きる」
日本遺産認定

問 捕鯨文化「鯨とともに生きる」が平成28年度日本遺産に認定されたが、誘客と周遊エリアの拡大や滞在時間の促進に向け、どう展開していくのか。

答 県は、関係団体とともに立ち上げた「熊野灘捕鯨文化継承協議会」を中心に、国の補助金などを活用しながら、情報発信や案内板の整備、日本遺産ガイドの養成、文化財の調査研究等さまざまな事業を展開し、世界遺産や南紀熊野ジオパークとの相乗効果を図りつつ、市町の域を超えた新たな観光ルートを形成することにより、熊野エリアの周遊促進と滞在時間の延長を図っていきます。

NHK朝ドラ誘致の取組

問 前畑秀子さんの朝ドラ誘致について、地域の誘致実行委員会をはじめ関係者が一丸となって取り組んでいる。県としても全面的にバックアップしてはどうか。

答 これまでもNHKに対して、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、番組化されるよう働きかけており、先日は知事みずから初井会長に要請したところです。今後も、

橋本市など地元の人々の熱意を後押しすべく、前畑さんの人生とその偉大さについて、メディアへの露出度をさらに高めるなど、関係機関と連携し、誘致活動の支援に全力を挙げていきます。

交通



地域における公共交通の現状

問 交通弱者がふえているが、路線バスなど地域における公共交通や、それを補完する交通手段確保の取組の現状はどうか。

答 乗り合いバスの利用者はピーク時の18・6%に減少し、バス路線の廃止数は平成25年度から27年度で34路線となつています。県では、バス路線維持のため、複数の市町村をまたぐ広域的・幹線的なバス路線に対し国と協調し補助を行っています。また、平成28年4月現在、20市町村でコミュニティバスが運行されており、そのうち6市町では事前予約制のデマンド運行が実施されています。



教育



中学校の修学旅行

問 中学校の修学旅行について、陸奥宗光の銅像のある外務省訪問による学習など、ふるさと教育をどう考えているのか。

答 修学旅行は、見聞を広め、将来、社会で生きていく上でふさわしい体験を積むことを目的に実施しており、ふるさと教育や平和学習等をテーマとして取り組んでいます。外務省等を訪問することにより日本外交に輝かしい功績を残した陸奥宗光について学ぶことは、ふるさとに

誇りを持ち、先人の偉業を知る上で大変意義深いものです。今後も、県内外で実施する体験活動を通して、ふるさと和歌山のよさを知り、生徒の見識を深める学習活動を進めていきます。

青少年のSNS利用

問 今日の情報化社会でスマートフォンを利用しないことは不可能である。ルールを守った上での安全な使用についてどのように教育していくのか。

答 これまでも情報モラル教育を進めてきましたが、今後も青少年関係部局と連携して、全ての生徒指導担当教員を対象に研修会を実施

農林



農業共済加入促進に向けた取組

問 共済加入促進につながる県の今後の取組は。

答 県下の各組合の果樹共済は、旧市町村を一つの単位として掛金率を算定する「地域単位の共済掛金率方式」を採用しており、個々の農業者の被害実態に応じた掛金率とすることで被害の少ない農業者がより加入しやすい「農業者単位の共済掛金率方式」に改めるよう指導しています。今後も、農業共済の加入促進に努めていきます。

農産物輸出

問 政府は「農業を成長産業」にの掛け声のもと、農業に力を入れようとしている。農産物の国内需給と輸出の必要性について県はどう考えているのか。

答 日本の人口は今後、減少が見込まれ、これに伴う国内食市場の縮小は必至です。また貿易自由化の流れが加速する中で、農産物輸入はますます拡大するものと考えられます。しかし、その一方で安全、安心、高品質の日本産農産物は海外から高い評価を受けています。県産農産物を世界に売り込むために海外市場開拓へのさらなる取組の必要があると認識しています。

森林環境の保全整備

問 森林が財産として評価・活用されて収入につながれば、自然に森林整備が進むと考えるが、木材の利活用について今後どう取り組んでいくのか。

答 紀州材の販路開拓が重要な活用とさらに進めていきます。また、木質バイオマス等さまざまな用途で木材需要の拡大を図るとともに、木質バイオマス関連企業の誘致にも取り組めます。木材の生産と需要拡大により手入れが進み、適正な森林管理が図られ、森林・林業の好循環が生まれるような取組を一層進めます。

健康・医療



和歌山県地域医療構想

問 奈良県では、南和地域の公立病院を病床機能により役割分担したが、橋本医療圏でも考えてはどうか。

答 各医療圏は、公立病院が中心的な役割を担っており、今後も地域の各医療機関との機能分化・連携を図りつつ、へき地・救急医療など地域で必要とされる医療を提供する責務があると考えています。地域の医療関係者等で構成する協議の場を設置し、橋本医療圏でも公立病院を含めた病床機能の役割分担について検討していきます。

文化



旧県議会議事堂の利活用

問 旧和歌山県議会議事堂での文化事業について、県はどう協力するか。また、今後の利活用についてどう取り組むのか。

答 当該施設で開催される文化事業には、積極的に情報を発信していきます。文化団体が行う文化事業については、内容により助成事業も用意しています。施設は岩出市が管理運営しますが、活用のために必要な改修は県で行うとともに、岩出市と十分連携し、文化団体等の自主イベントの開催実現に向け、積極的な情報提供などの協力をしていきます。

やまもと しげひろ 建
山本 茂博 自民



和歌山県的发展、安全、安心の為にがんばります

選挙区
(定数●人)



ふりがな **議員 氏名** 総
会派



県民の皆様へメッセージ

会派凡例

自民：自由民主党県議団
改新：改新クラブ
共産：日本共産党県議団
公明：公明党県議団
無会：無所属議員の会

常任委員会凡例

総 総務委員会
福 福祉環境委員会
経 経済警察委員会
農 農林水産委員会
建 建設委員会
文 文教委員会
委員長
副委員長

議員の紹介

あなたのまちの議員を紹介します。



橋本市
(定数3人)



いわた ひろひこ 文
岩田 弘彦 自民



魅力づくりで、地域活性化のスピードアップ

なかにし みねお 福
中西 峰雄 自民



若い人が住み続けられる和歌山を創ろう！

なかもと こうせい 総
中本 浩精 自民



和歌山県発展の為、皆様と共に頑張ります。

まつさか ひでき 建
松坂 英樹 共産



あなたの声を県政に。いつも住民目線で！

伊都郡
(定数1人)



ほり たつお 経
堀 龍雄 自民



子供達の未来のためにガンバります

田辺市
(定数3人)



いずみ まさのり 福
泉 正徳 自民



地方間競争の時代！勝ちぬきましょう！

すずき たいゆう 経
鈴木 太雄 自民



和歌山県の確かな未来に向けて頑張ります。

たにぐち かずき 農
谷口 和樹 改新



子供たちが輝く未来を創る！

新宮市
(定数1人)



はまぐち たいし 建
濱口 太史 自民



世界・日本遺産とジオパークで熊野を発信！

西牟婁郡
(定数2人)



あきづき ふみなり 総
秋月 史成 自民



「声をカタチに」

たちたに せいいち 農
立谷 誠一 自民



旧空港一帯を日本一の災害救援支援ゾーンに

東牟婁郡
(定数2人)



たに よういち 農
谷 洋一 自民



地方創生でふるさとを元気に！ガンパロウ！！

まえしば まさつぐ 建
前芝 雅嗣 自民



県勢発展のために全力で取り組みます！

和歌山市 (定数15人)



なか たくや 文
中 拓哉 公明



世の中の不幸をなくすため、懸命に働きます

いわい ひろつぐ 総
岩井 弘次 公明



「知恩報恩」の思いで徹して民衆と共に！

ただ じゅんいち 経
多田 純一 公明



やる気と情熱 真面目な仕事人！

岩出市 (定数2人)



かわばた てつや 農
川畑 哲哉 自民



好きな言葉は「人生会う人皆師匠」ですつ。

おくむら のりこ 福
奥村 規子 共産



憲法を守り、貧困と格差なくし、若者に夢を

ながさか たかし 経
長坂 隆司 改新



目先のことより明るい将来像を描けるように

うじ た えいぞう 建
宇治田 栄蔵 自民



強い子を育てるとともに、武道振興に努めます

おさき たろう 福
尾崎 太郎 自民



いよいよ五輪 本県出身選手を応援しましょう

紀の川市 (定数3人)



きしもと たけし 総
岸本 健 自民



人にやさしい政治、躍動する和歌山を目指す

かたぎり あきひろ 建
片桐 章浩 改新



よく分かる政治。納得できる政治を推進！

にいじま たけし 総
新島 雄 自民



「国体・大会」県民総参加有難うございました

い で ますひろ 経
井出 益弘 自民



幹線道路・河川等 早期整備し豊かな都市造り

すがはら ひろゆき 農
菅原 博之 無会



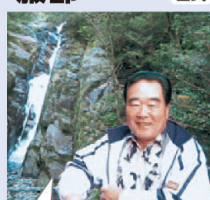
若い人が喜んで働ける和歌山を造ります。

やまだ まさひこ 文
山田 正彦 自民



地域の代弁、熱い思いと強い意志で一歩前へ

はっとり はじめ 農
服部 一 自民



少子高齢化、過疎化対策に取り組みます。

やました なおや 経
山下 直也 自民



メモと現場を大切に、そして地域の声を県政に！

もり れいこ 福
森 礼子 自民



自慢の和歌山県！ふるさとのために行動！

ふじもと まりこ 文
藤本 眞利子 改新



全ての人が大切にされる社会をめざします。

うらぐち こうてん 福
浦口 高典 改新



「健康長寿日本一わかやま」ラジオ体操で！

有田郡 (定数2人)



よしい かずみ 文
吉井 和視 自民



いなかの地域社会と生活を守ります。

海南市・海草郡 (定数3人)



おさき ようじ 経
尾崎 要二 自民



いつも全力投球！

ふじやま まさき 文
藤山 将材 自民



地方創生めざしてまっしぐら！

さいか みつお 総
雑賀 光夫 共産



平和憲法を守れ。雨二も負ケズ。県民と共に

日高郡 (定数3人)



さかもと のぼる 文
坂本 登 自民



祝！世界農業遺産登録 地産外消がんばります。

有田市 (定数1人)



あさい おさいちろう 総
浅井 修一郎 自民



持続ある観光振興を図り 真の観光立県を推進

御坊市 (定数1人)



なかむら ゆういち 福
中村 裕一 自民



和歌山へ大学を造ろう！！

はなだ けんきち 農
花田 健吉 自民



慈尊の心を忘れず県民の幸せの為 精進します

とみやす たみひろ 建
富安 民浩 自民



ふるさとの魅力の再発見と発信を！

県議会のしくみ

県議会は、県民のみなさまが選んだ代表者である議員が集まって、県政を進める上での大切なことから話し合い、決めていく「議決機関」です。

それに対して、知事をはじめとする「執行機関」は、県議会の決定に沿って実際に仕事を進めていくところであり、2つの機関は、それぞれの権限と役割が区分され、県政を運営するための両輪となっています。

近年、地方分権が進む変革期にあって、議会の担う役割が一層重要になっており、議員自らも意見書・決议案等の提出にとどまらず、政策実現のために条例の立案に取り組むなど、時代に適応した活動をしています。



議会運営委員会

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会に係る条例等に関する事項等について調査審議します。

- ◎山本 茂博
○森 礼子
前芝 雅嗣
花田 健吉
中村 裕一
富安 民浩
吉井 和視
岸本 健
山下 直也
山田 正彦
藤本眞利子
松坂 英樹
中 拓哉
(定数13人)

◎委員長 ○副委員長

常任委員会

常任委員会は常設で、本会議から付託された議案・請願などを、議決に先立って議員で分担して専門的に審議する機関です。常任委員会は6つあり、議員はいずれかの委員会に属しています。

総務委員会

- ◎中本 浩精 岸本 健 岩井 弘次
○秋月 史成 新島 雄 (定数7人)
浅井修一郎 雑賀 光夫

所管する部局

総務部・企画部・会計管理者・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・他の常任委員会の所管に属しないこと

審議内容 ●県財政 ●長期計画 ●防災 など

農林水産委員会

- ◎立谷 誠一 花田 健吉 菅原 博之
○谷口 和樹 服部 一 (定数7人)
川畑 哲哉 谷 洋一

所管する部局

農林水産部・海区漁業調整委員会・内水面漁場管理委員会

審議内容 ●農業・林業・水産業の振興 など

福祉環境委員会

- ◎浦口 高典 泉 正徳 奥村 規子
○中西 峰雄 尾崎 太郎 (定数7人)
森 礼子 中村 裕一

所管する部局

環境生活部・福祉保健部

審議内容 ●子ども・子育て ●高齢者対策 ●産業廃棄物対策 など

建設委員会

- ◎濱口 太史 宇治田栄蔵 片桐 章浩
○松坂 英樹 富安 民浩 (定数7人)
前芝 雅嗣 山本 茂博

所管する部局

県土整備部・収用委員会

審議内容 ●道路網・港湾整備 ●治水・砂防事業 ●都市政策・公園・建築 など

経済警察委員会

- ◎鈴木 太雄 尾崎 要二 多田 純一
○堀 龍雄 山下 直也 (定数7人)
井出 益弘 長坂 隆司

所管する部局

商工観光労働部・公安委員会・労働委員会

審議内容 ●観光 ●産業と雇用 ●エネルギー ●交通安全と治安 など

文教委員会

- ◎岩田 弘彦 吉井 和視 藤本眞利子
○中 拓哉 山田 正彦 (定数7人)
藤山 将材 坂本 登

所管する部局

教育委員会

審議内容 ●学校教育 ●生涯学習 ●文化財 ●保健体育・スポーツ など

◎委員長 ○副委員長

県議会の仕事

県議会は、法令により多くの権限が与えられています。それにより県政の重要な事項を審議し、進むべき方向を決定する役割をもっています。主な仕事(権限)は、以下のとおりです。

議 決

条例の制定・改正・廃止、予算の成立、決算の認定、主要な契約の締結など、県政の重要な事項は、県議会の議決が必要です。

選 挙

議長・副議長・選挙管理委員会委員などを選挙します。

同 意

知事が選任・任命する副知事及び各種委員など県政の重要な職務に就く人の人事については、県議会の同意が必要です。

意見書提出・決議

県民の利益に関する事項について、関係する行政機関や国会に意見書を提出したり、時の社会問題等についての議会の意思を明らかにするため決議を行います。

請願の審査、陳情の処理

県民からの意見や要望を受理します。なお、請願については審査し、その内容が県政にとって有益なときは採択し、知事や関係機関に送付して、その処理の経過及び結果報告を求めます。

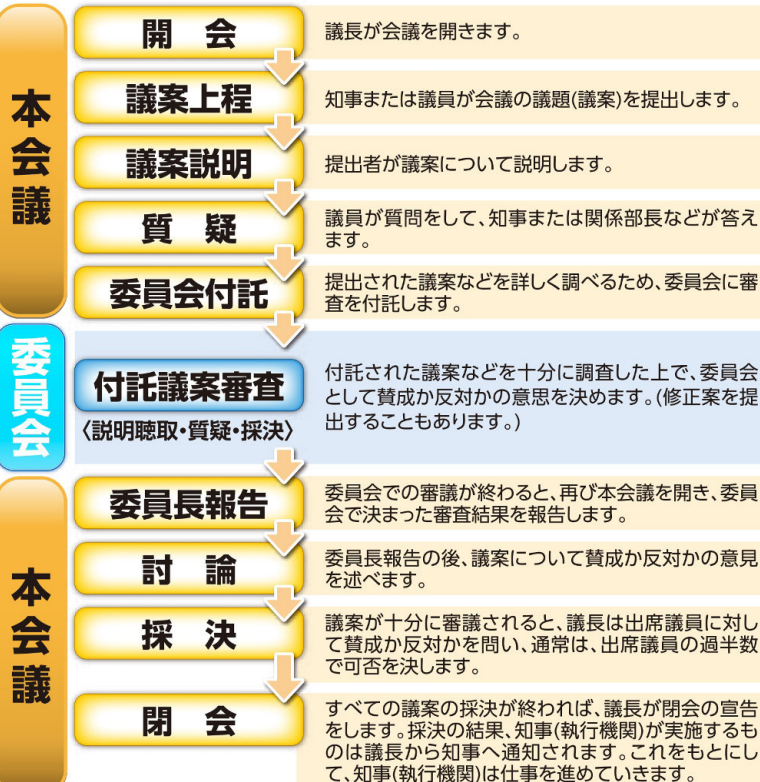
調査・検査

県の仕事が適正に行われているかどうか調査・検査します。必要に応じて、関係者から説明・意見を聴取したり、出頭・証言・記録の提出を求めたりします。



議案を議決するまでの流れ

議案は、本会議で質疑されたのち関係委員会に付託され、十分に審議された上で本会議で議決します。



議会で議決する議案の主なもの

予算…知事から提出された1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積額のことで、議会で可決された予算をもとに各種の施策を実施します。
条例…県で定める法律のことで、議会の議決を得て制定します。条例には県民の権利や義務に関するもの、県政の運営に関するものなどがあり、知事提出議案のものと議員提出議案のものがあります。

特別委員会

特別委員会は複数の常任委員会にまたがる事項や特に重要な案件など特定の事項について専門的に審議する機関です。

防災・国土強靱化対策特別委員会

防災、減災、迅速な復旧・復興等諸般の災害に関する施策について調査審議します。

◎尾崎 要二 前芝 雅嗣 山本 茂博
 ○岩井 弘次 川畑 哲哉 長坂 隆司
 堀 龍雄 花田 健吉 雑賀 光夫
 森 礼子 富安 民浩 (定数11人)

審議内容
 ●南海トラフ巨大地震対策
 ●台風等による土砂災害対策
 ●公共施設の高台移転の促進 など

人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

人権、少子高齢化問題等に関する施策について調査審議します。

◎中村 裕一 吉井 和視 藤本眞利子
 ○奥村 規子 中本 浩精 中 拓哉
 濱口 太史 岸本 健 (定数10人)
 鈴木 太雄 山下 直也

審議内容
 ●人権問題対策
 ●少子高齢化対策 など

行政改革・基本計画等に関する特別委員会

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合について調査審議します。

◎井出 益弘 尾崎 太郎 片桐 章浩
 ○浦口 高典 岩田 弘彦 菅原 博之
 中西 峰雄 新島 雄 (定数10人)
 秋月 史成 山田 正彦

審議内容
 ●行財政改革
 ●関西広域連合 など

半島振興・地方創生対策特別委員会

◎宇治田栄蔵 谷 洋一
 ○服部 一 坂本 登
 立谷 誠一 谷口 和樹
 浅井修一郎 松坂 英樹
 泉 正徳 多田 純一
 藤山 将材 (定数11人)

半島地域の振興対策及び地方創生に関する施策について調査審議します。

審議内容
 ●半島振興
 ●地方創生 など

予算特別委員会

◎新島 雄 濱口 太史 山下 直也
 ○藤山 将材 尾崎 要二 浦口 高典
 立谷 誠一 鈴木 太雄 谷口 和樹
 前芝 雅嗣 岩田 弘彦 長坂 隆司
 井出 益弘 富安 民浩 松坂 英樹
 宇治田栄蔵 中本 浩精 岩井 弘次
 川畑 哲哉 岸本 健 (定数20人)

県の予算を総合的に審議します。

審議内容
 ●一般会計予算
 ●特別会計予算 など

